

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2009年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 国立競技場使用上の注意

- (1) 当該種目競技者以外は、競技エリアならびにダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- (2) 競技場は全天候舗装である。なお、競技用靴について競技規則「第143条 服装、競技用靴、ナンバーカード」の項を参照のこと。
- (3) 更衣室前の室内練習場でのトレーナー活動は事前に大会事務局の許可を得た参加校に限る。
- (4) 競技場内のすべての電源は、大会主催者の許可なく使用してはならない。

3. インフォメーション・センターについて

大会期間中の質問、抗議、苦情、書類の配布等の窓口はすべてインフォメーション・センターとする。インフォメーション・センターは、南入場口付近に設置し、開放時間と各種配布書類については、下記のとおりとする。

9月4日(金)	7時30分～20時30分
5日(土)	7時00分～20時30分
6日(日)	7時00分～17時00分

	書類名	配布場所	提出(依頼)先
1	不出場届	招集所、インフォメーション・センター	招集所(競技者係)
2	重複出場届		招集所(競技者係)
3	記録証明書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
4	リレーオーダー用紙	招集所	招集所(競技者係)

4. 練習について

- (1) 練習場所については、①国立競技場ランプ下直走路・砂場、②バックスタンド裏コンコース、③東京体育館陸上競技場のみとする。利用時は競技役員の指示に従い、事故等のないよう注意すること。ただし、いずれの場所も投てき練習は禁止とする。
- (2) ダッグアウトなど指定練習場所以外での練習や国立競技場周辺での集団走は、事故防止のため厳禁とする。
- (3) 跳躍・投てき種目の練習は、競技役員の指示に従って競技開始前に競技場所にて行う。その際の練習は各種目とも2回までとする。
- (4) 走高跳・棒高跳の練習はゴム製バーを用いて行う。

5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは1名につき2枚配付し、出場者は必ずこれを着用しなければならない(競技規則「第143条 服装、競技用靴、ナンバーカード」参照)。
- (2)トラック種目は腰ナンバー標識を着用する。腰ナンバー標識は競技者係が招集所にて配布し、レース終了後回収する。
- (3) ナンバーカードの地色、数字の色は下記のとおりとする。
 - 男子……黄色地×黒数字 ○ 女子……ピンク地×黒数字
 - 5000m、10000m、10000mW……オレンジ地×黒数字
 - ハンマー投予選のみ(日本大学陸上競技場開催)……白地×黒数字

※5000m、10000m、10000mW の出場者には、当該種目実施日にオレンジ地×黒数字のナンバーカード(レース用)を招集所にて配布する。ただし、その際に事前に配布したナンバーカードを持参すること。なお、この3種目については両腰に腰ナンバー標識を着用する。

6. 招集について

- (1) 招集所は北入場口付近（100m 地点後方）に設置する。ただし、ハンマー投予選は日本大学陸上競技場、棒高跳は競技実施場所（バックストレート側ピット）で行う。
- (2) ハンマー投予選用の特別ナンバーカードは、招集の際に配布する。
- (3) 代理人による点呼は認めない。同時進行種目への出場者は「重複出場届」に必要事項を記入の上、必ず招集所（競技者係）に提出すること。なお、「重複出場届」はインフォメーション・センターと招集所にて配布する。
- (4) 招集完了時刻に遅れると該当種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 各種目の招集時刻は下記のとおりとする。なお、招集の開始および完了時刻は、競技日程を基準として設ける。

<トラック競技>

予選・準決勝				決 勝	
グループ	組	開始	完了	開始	完了
第 1	1～2	競技開始 30分前	競技開始 20分前	競技開始 30分前	競技開始 20分前
第 2	3～4	” 20分前	” 10分前		
第 3	5～6	” 10分前	” 同時刻		
第 4	7～8	” 同時刻	” 10分後		

<フィールド競技>

棒高跳		他の跳躍種目		投てき種目	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
競技開始 100分前	競技開始 90分前	競技開始 60分前	競技開始 50分前	競技開始 60分前	競技開始 50分前

- (6) リレーオーダー用紙は、ラウンドごとに必要事項を記入の上、第1グループの招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること（メンバーについては競技規則「第170条 リレー競走」参照）。
- (7) 混成競技の招集時刻については、9. - (8) 混成競技についての a. 項を参照のこと。

7. 不出場（棄権）について

やむなく欠場する場合は「不出場届」に必要事項を記入の上、必ず招集所（競技者係）に提出すること。ただし、監督代表者会議で不出場を申し出た場合は、改めて「不出場届」を提出する必要はない。なお、「不出場届」はインフォメーション・センターと招集所にて配布する。

8. 用器具について

下記を除いて、競技に使用する用器具はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

- (1) 棒高跳用ポールは個人所有のものを使用する。
- (2) やりは個人所有のものを使用することができる。その場合、招集完了時刻1時間前までに用器具庫にて検定を受けること。なお、返却は当該競技終了後に用器具庫にて行う。

9. 競技について

- (1) 競技者は所属の公式ユニフォームを着用する。また、競技場内への入退場は競技役員の指示に従う。
- (2) 競技者はビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバー、携帯電話またはそれらに類似する機器を競技エリアに持ち込んで서는ならない（競技規則「第 144 条 助力」参照）。
- (3) 計時・計測について
トラック競技の計時はすべて写真判定装置を用いて行う。投てき競技は光波計測とする。ただし、砲丸投およびハンマー投予選に関してはスチールメジャーで計測する。
- (4) 5000m、10000m、10000mW においては天候に応じて給水を行う場合がある。
- (5) フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (6) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は原則として下記のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子走高跳	1m95	2m00	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	+3cm
男子棒高跳	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m25	+5cm
女子走高跳	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	+3cm
女子棒高跳	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m65	+5cm

- (7) ハンマー投について
予選は男女とも日本大学陸上競技場で行い、上位 12 名を決勝進出とする。決勝は国立競技場で行う（練習 2 投）。
- (8) 混成競技について
 - a. 招集は第 1 日、第 2 日の最初の競技種目開始時刻の 30 分前（第 2 日の七種競技は 50 分前）に招集所で行う。以後、招集は行わないので、競技者は次の種目から混成競技者控え室で待機し、混成競技係の指示を受けること。
 - b. 混成競技者控え室は、男子が更衣室 C、女子が更衣室 D を使用すること。
 - c. 混成競技者控え室へのチームスタッフなどの立ち入りは認めない。
 - d. 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

種 目		練習	1	2	3	4	5	6	7	以降	
十 種	走高跳	低	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	+3cm
		高	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	1m99	+3cm
	棒高跳	低	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	+10cm
		高	3m80	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	4m60	+10cm
七種走高跳	低	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	+3cm	
	高	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	+3cm	

10. 番組編成について

- (1) 同タイムの競技者（チーム）がありレーンが不足する場合は、写真を拡大して判定し、次のラウンドへの進出者を決定する。それでも決まらない場合は、当該競技者もしくは代理人により抽選を行い決定する（競技規則「第 167 条 同成績」参照）。
- (2) 3000mSC の予選において、出場者が両組合計で 18 名以下になった場合は予選ラウンドを行わない。

11. 抗議・上訴について

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者または代理人により結果が正式発表（電光掲示）されてから 30 分以内（次ラウンドがある場合は 15 分以内）にインフォメーション・センター（南入場口付近）に申し出ること。その後、担当総務員を通して口頭で審判長に行う。（競技規則「第 146 条 抗議と上訴」参照）。またその間、抗議者は大会本部で待機すること。

1 2. ドーピングコントロールテストの実施について

ドーピングコントロールテストは JADA および JAAF の規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は競技役員の指示に従ってテストを受けること。

1 3. 表彰および対校得点について

- (1) 各種目第 3 位までに入賞した競技者にはメダルと賞状を贈与する。該当者は競技終了後、直ちに表彰控室に集合し、表彰係の指示に従うこと。また、第 4 位～第 8 位までの入賞者には賞状を贈与するので、各自インフォメーション・センターにて必ず受け取ること。
- (2) 表彰を受ける際は、上下とも各校の公式ジャージを着用すること。
- (3) 対校得点は各種目、第 1 位… 8 点、第 2 位… 7 点、第 3 位… 6 点、第 4 位… 5 点、第 5 位… 4 点、第 6 位… 3 点、第 7 位… 2 点、第 8 位… 1 点とする。
- (4) 対校得点が同点の場合、上位入賞種目の多い方を上位とする（優勝種目数が同じであれば、第 2 位入賞種目数の多い方を上位とする。以下同様）。

1 4. 商標について

競技者が競技場に商標名の付いた衣類、バッグ等を持ち込む場合は「競技会における広告および展示物に関する規程」の項を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等で隠すこと。

1 5. 衣類の管理について

- (1) 競技者は招集所で配布する袋を衣類・バッグ等の管理に使用することができる。
- (2) トラック競技ではスタート前に脱衣した衣類などを（1）の袋に入れ、指定された場所に置く。これらの衣類は、フィニッシュ地点付近に運ばれるので、各自で受け取り退場すること。ただし、4×100mR は衣類の運搬は行わない。

1 6. その他

(1) ID について

下記の区域に立ち入る者は、必要となる ID カードを所持していなければ入場できない。また、出場競技者も必ず ID を着けること。ナンバーカードでの競技エリア内への入場は認めない。注意や退場を命じられた場合は、速やかに従うこと。

区域	必要とする ID(いずれか 1 つで可)
メインスタンド下部施設 (北入場口～正面玄関ホール)	各種 ID カード、報道ビブス
メインスタンド下部施設 (南入場口～正面玄関ホール)	チームスタッフ ID を除く各種 ID カード 報道ビブス
競技エリア・ダッグアウト	

(2) 応急処置について

競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする（ただし、「日本学生陸上競技総合補償制度」が適用される）。また、事故の結果について、本連合では責任を負わない。

(3) 緊急車両の手配について

救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。

(4) 盗難・紛失について

大会期間中に主催者に届けられた物品等については一時的にインフォメーション・センターで保管するが、その他の盗難・紛失に関しては責任を負わない。

(5) 国立競技場の開閉門時刻について

大会期間中の開閉門時間は下記のとおりとする。開門時刻前の入場や閉門時刻までに退場が完了していない参加校については、厳重に対処する。

	(開 門)	(閉 門)
9月4日(金)	7時30分	20時50分
5日(土)	7時00分	20時30分
6日(日)	7時00分	17時30分

(6) 競技結果等の広報について

記録処理終了後、随時下記の携帯サイトに速報として発表する。



本連合携帯サイト <http://www.iuau.jp/i/>

(7) 駐車場について

参加校の駐車場は用意しない。駐車する場合は、競技場周辺の一般有料駐車場を利用すること。また、本連合発行の駐車証を用いても学校名の入った車両などの駐車は一切認めないので、注意すること。

(8) 観客席について

メインスタンドでの場所取りや張り出しなどは一切禁止とする。また、ロイヤルボックスおよび記者席への立ち入りは禁止とする(一般客含む)。

(9) その他、不明な点については、インフォメーション・センターに問い合わせること。